

【作成要領】

学校名 南城市立百名小学校	連絡先 TEL: 098-948-1012 E メール : hyakusho-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	--

1 実践事項

②「特色ある取組」（カリキュラムマネジメント・ICTを活用した事例等）

タイトル：「『学ぶこと』の目的意識を育む教育活動の推進」

2 実践内容

現在、学校教育に求められているのは、「知識や技能習得だけでなく自ら課題を発見し、自ら判断して行動する力を育み、よりよい社会や人生を切り拓いていく力の育成」だと言われている。

先行きが不透明で将来の予測が困難な時代と言われる中、本校は児童一人一人が、自らの良さや可能性を行かした将来の目標に向けて、「学ぶこと」の目的意識を育む教育活動を、試行錯誤しながら学校全体で取り組んでいる。

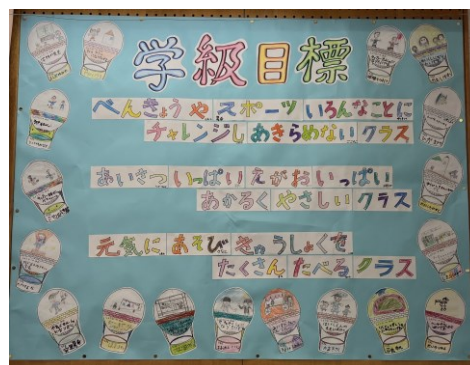
3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）

(1) 各学年・学級目標の設定

「学ぶこと」・「将来の夢」・「希望」を育む土台となる学級に、支持的風土を醸成させるための取組として学級目標の設定を行っている。また、その取組の評価を毎月行うことで学級目標の達成状況を「見える化」し目標の進捗状況を児童に意識させている。



2年学級目標①



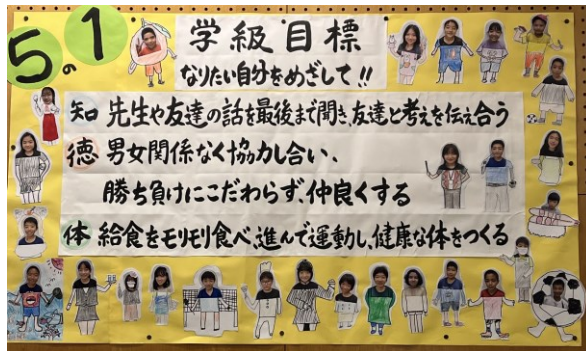
2年学級目標②



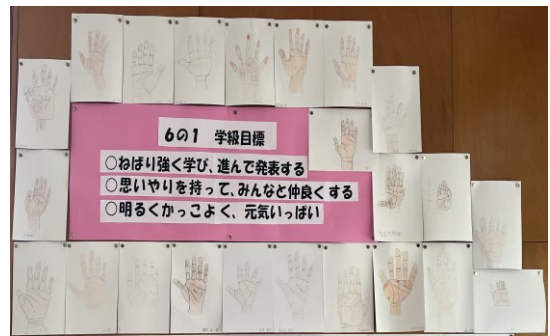
3年学級目標



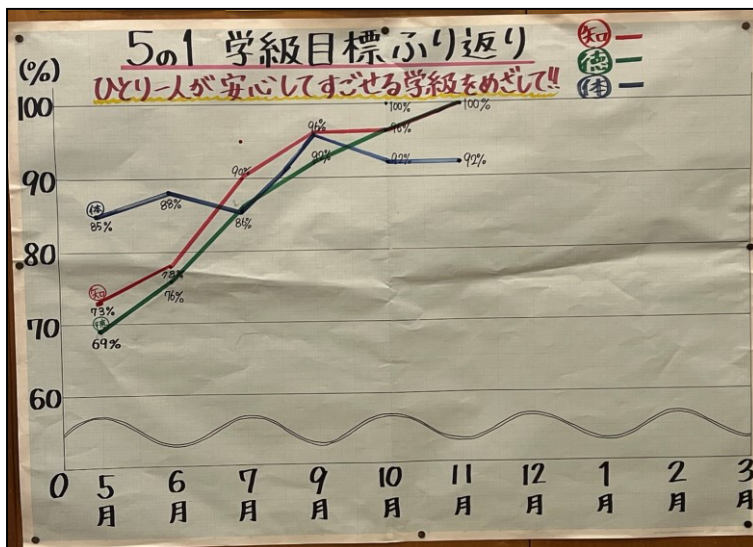
4年学級目標



5年学級目標



6年学級目標



毎月の学級目標の達成状況を確認。

## (2) キャリア教育との連動

キャリア教育の中で、自分の良さや可能性を活かした目標設定を行い、将来の職業観・勤労観につながる「学ぶこと」の目的意識を育む活動を充実させていく。

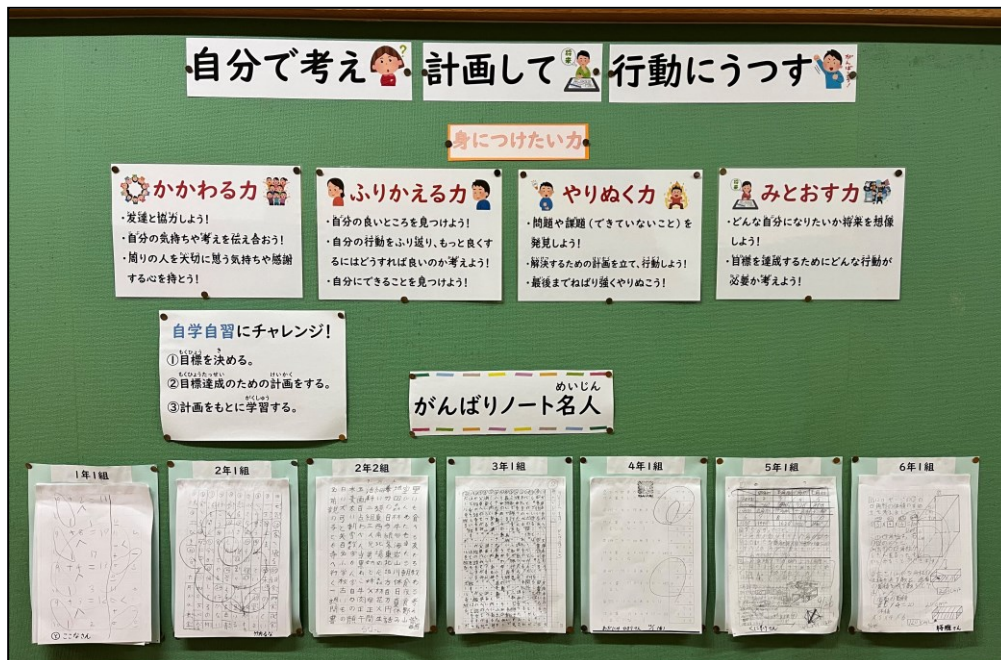
まず、キャリア教育に関する掲示板を常設。掲示物で各学年・学校全体の取組が見える化し、「自分で考え、計画し行動できる児童の育成」を図る。

### ①「百名っ子の夢」の掲示



各学級でキャリアパスポートに関連した取組の一つ。児童一人一人の将来の夢を掲示し、学校で学ぶ目的を確認した。

### ②「キャリア教育で身に付けさせたい力」の掲示



「百名っ子の夢」の掲示で確認した「夢やなりたい自分」の実現に向け、沖縄県のキャリア教育で身に付けさせたい力「か・ふ・や・み」の視点を掲示。目標を達成するために継続して努力する態度、自立して学習することのできる力の育成を図る。

また、各学年でお手本となる「がんばりノート名人」を随時掲示し学習意欲の喚起を行っている。

### ③家庭学習における全学年共通の主な手順を作成。

沖縄県教育委員会から提示のあった「家庭学習の手引き」を参考にした、全学年共通の手順を作成、学級保護者会で周知し家庭での支援・見取りの協力依頼を行った。

また、児童の「がんばりノート」に貼り付け基本的な学習の進め方の確認を行った。

まいにち きほん ぜんがくねんきょうつう おち てしゅん  
【毎日の基本・全学年共通の主な手順】

- ① 日付を書きましょう。
- ② 何の勉強をするのか書きましょう。
- ③ ドリルや問題集を使うときは、問題の番号を必ず書きましょう。
- ④ 終わったら必ず答え合わせをして、間違った問題はもう一度おさらいをしましょう。
- ⑤ 学習の「ふりかえり」をしましょう。
- ⑥ 終わったら保護者に見てもらい、サインをしてもらいましょう。

**1・2年生（低学年）**

毎日の基本  
□ 学習の時間 1年生=10~30分 2年生=20~30分

内容

【国語】  
ドリルや問題集／文字の練習（ひらがな、カタカナ、漢字）  
教科書の書き写し／しりとり／言葉集め／読んだ本の感想／日記

【算数】  
ドリルや問題集／数字の練習／計算問題／問題づくり  
形やたさ／時計の問題など

【その他】  
身近にいる昆虫や動植物について調べてみる／日記など  
【うつくしいノートにするためのやくそく】  
正しい書き方を守ります。  
文字のかたちに気をつけて書きます。  
マス目のなかに、ていねいに書きます。  
習った漢字や言葉を使って書きます。  
線はじょうぎで引きます。

まいにち きほん ぜんがくねんきょうつう おち てしゅん  
【毎日の基本・全学年共通の主な手順】

- ① 日付を書きましょう。
- ② 「めあて」を書きましょう。
- ③ ドリルや問題集を使うときは、問題の番号を必ず書きましょう。
- ④ 終わったら必ず答え合わせをして、間違った問題はもう一度おさらいをしましょう。
- ⑤ 学習の「ふりかえり」をしましょう。
- ⑥ 終わったら、保護者に見てもらいサインをしてもらいましょう。

**3・4年生（中学年）**

毎日の基本  
□ 学習の時間 3年生・4年生=45分以上  
□ 内容がたよらないように、計画を立てて取り組みましょう。

内容

【国語】  
ドリルや問題集／漢字や言葉の学習（新しい漢字や読めない字、意味のわからない言葉は辞典で調べ）／熟語で短文づくり  
教科書の書き写し／読んだ本の感想や紹介／日記／作文など

【算数】  
ドリルや問題集／計算問題／問題づくり（自分で問題を作成）  
その日の復習／道具を使って、図形を描くなど

【その他】  
文字の形や筆順を正しく覚えましょう。  
習った漢字 熟語を使って例文を書きましょう。  
定規やコンパスなどの道具に慣れましょう。  
適度なスペースを空けて書きましょう。

④百名っ子 「家庭学習支援プラン」の作成

家庭と学校で連携・協力するための資料として作成。家庭学習での学年目標、各学年における親の目指すべきサポート、各学年における目指すべき学習習慣を記載。学級保護者会で周知、協力依頼を行った。

学年	学年目標	目指すべき学習習慣	親のサポート
1年	親子で約束し、楽しく学習	親と児童で、学習する時間を決定。約束した時間（学習に取りかかる準備や片付けなども含めて、学習+宿題）家庭学習ができることを目指します。	毎日の学習に対して応援と答え合わせをし、「テスト」が返ってきたら一緒に振り返りましょう。そうすることで、児童に達成感と学習上のふり返りの意味を伝えられます。
2年	声かけで自分から学習	親と児童で、学習する日と時間を決定。約束した通りに、家庭学習を「声をかけられたら自分から始められる」ことを目指します。	「まるつけをきちんとお願いすることができる」「×に対していやがるのではなく、繰り返して次は間違えないようにする」などができるように声かけをしていきましょう。
3年	言われなくても進んで学習	言われなくても、自分から毎日学習する姿勢が見られること。学習に取り組む時間は親と一緒に決め、少しずつ自分から取り組めるようになることを目指します。	間違えた問題を自分でやり直せることが大切です。答え合わせについては、基本的にはおうちのかたにやってもらいますが、3年生後半には、簡単な問題なら自分で〇×がつけられるようにサポートを。
4年	自分で決めたことを毎日実行	毎日やることを決めて実行でき、1か月の決められた学習量を、自分でやれることを目指します。	答え合わせの際に、親が手を離さなくても、少しずつ一人でできることが大切です。最終的には児童が自分で決めたい正しい答え合わせが一人ででき、習慣化できるように声かけをしていきましょう。
5年	自分の目標どおりに学習	その週・月・学期ごとの状況に合わせて、自分で目標を決め、自発的に決めた通りに学習できることを目指します。	自分でできているところ、できていないところを把握できることが大切です。また、わからないところを自分で具体的に説明できるようにサポートを。
6年	中学校に向けての習慣づくり	自分の決めた方法で、毎日学習できること。「自分で計画して取り組む姿勢」を養うことを目指します。	自分の苦手なところでも、粘り強く学習に取り組めるように、声をかけていきましょう。家庭学習が継続して取り組めるように励ましてあげましょう。

(3) 各種専門機関との連携を通して、学ぶ目的意識や職業観・勤労観を育む

外部講師による出前授業の実施をとおして児童が現実の社会について学ぶとともに、「学ぶ

と

について新しい視点を得ることを目的としている。外部講師の職業や経験を通して児童は将来の進路について考えるきっかけと、学ぶ目的意識を高めることができた。



写真プログラム



しめ飾り作



子どもの国サイエンスショー



OIST 地域連携の出前授業

#### 4 成果

- ・支持的風土のある学級を基礎に「学ぶことの目的意識」を学校教育活動全体でマネジメントすることができた。
- ・家庭学習に対する学校の取り組みを保護者に周知し、家庭と学校の連携を確認することができた。

#### 5 課題

- ・家庭学習の「質」を高める更なる取組。
- ・「個別最適な学び」につながる ICT の活用。

